

代表質問

公明党

輪島 美津江 議員



誰もが輝く地域共生社会を目指して

問 ごみ収集現場でルール違反の家
庭ごみが発見された場合、市はどの
ような対応をされていますか。

答 ごみ集積場に分別方法や収集日な
どの搬出ルールに違反したごみが出さ
れた場合には、搬出者にルール違反で
あることを認識していただき、適正な
分別や出し直しを促すため、収集委託
業者が違反シールを貼付し、その場で
は収集しない取扱いとしています。そ
の後、搬出者による持ち帰りや適正な
搬出が行われず、違反ごみ集積場に残
されたままとなっている場合には、集
積場周辺の生活環境や衛生面への影響
などを考慮し、違反シールの貼付から
おおむね1週間を目安に回収しており
ます。

問 民生委員の今後の担い手確保に
向けた取組みについて

答 今後の担い手確保に向けた取組み
といたしましては、引き続き現役の民
生委員や民生委員経験者の人的ネット
ワークを活用して、適切な人材選出に
努めるとともに、区や自治会からの既
存の推薦ルートを生かしつつ、社会福
祉協議会や公務員関係、教育・保育職
従事者、地元事業者など複数の推薦
ルートを確保することも必要であると
考えております。また現状では若い世
代や就労世代との接点が限られている
ことから、若者や子ども向けの広報活
動を推進し、民生委員活動への理解を
深めていただく取組みを進めることも
将来の担い手を確保する上では重要で
あると考えております。あわせて、地
域行事や学校との連携などを通じて、
若い世代との接点を創出することなど
も必要と認識しております。

問 災害関連死を防ぐための避難
所・避難生活対策、大規模災害時
における断水対策と防災用水の確

保について

答 市内26か所の防災井戸の設備点
検につきましては、1年に一度、職
員において確認を行っており、必要
に応じて修繕を実施しています。ま
た水質検査はおおむね5年に一度実
施しております。なお、水質検査の
検査項目は、一般細菌検査、大腸菌
検査、pH値などで、直近では令和
3年3月に実施したところです。発
災時の使用体制ですが、現在26か所
とも故障等は発生しておらず、全て
において使用が可能なものと認識し
ております。災害時に防災井戸のみ
で全ての生活用水需要を賄うことは
困難であるとの認識の下、市役所駐
車場ほか5か所の指定応急給水場所
からの補完的な供給や雨水等の代替
水源も活用し、地域住民や自主防災
組織と連携しながら、より実効性の
高い生活用水の確保に努めてまいり
ます。車中泊やテントで生活する
方、在宅避難者についても世帯ごと
に名簿を作成して状況を把握すると
ともに、食料や物資同様飲料水に
ついては支援の対象から漏らさない
体制としております。



関連質問

引間 真理子 議員



問 オンライン授業配信エデュオプ
ちばのサポート内容と状況について

答 県教育委員会がインターネット
配信するエデュオプちばは、小・中
学校各学年の主要教科である国語、
数学、社会、理科、英語について長
期休業中を除く平日にオンラインに
よる双方向型で顔や声を出さずに参
加できる授業を実施しております。
周知につきましては、学校から保護
者へ、直接周知を図っております。

問 生命(いのち)の安全教育につ
いて、近年増加する性犯罪被害の現
状、子ども性犯罪の加害・被害者
にさせないため、性犯罪・性暴力防
止のための教育の実施について

答 生命(いのち)の安全教育の取
組みにつきましては、子どもたちが
性暴力の加害者、被害者、傍観者に
ならないよう毎年5月を強化月間と
位置づけ、各学校の実態に応じた指
導計画にその内容を盛り込むととも
に、千葉県の指導の手引きに示され
た題材を、積極的に取り組むよう指
導しております。また道徳や保健学
習の授業等を中心に、他人との適切
な距離感を確保する必要性や、プラ
イベートゾーンについて、具体的に
触れることで児童・生徒の性に対す
る理解を深め、性被害予防の学習に
も取り組んでおります。

問 SNSのトラブル未然防止のた
めの指導について

答 全校集会等で、専門的な知識を
備えた外部人材を活用し、SNSによ
るトラブルの未然防止等に関する講話
を取り入れるなどしてトラブルの未然
防止に努めております。

※その他、不登校の児童・生徒数の
状況と相談体制について、学校内外
の機関等の関わり、適応指導教室の
目的と活動内容を伺いました。

関連質問

上代 和利 議員



問 持続可能な財政運営にむけた取
組みの達成状況と今後の見通しにつ
いて

答 歳入面は税収の確保をはじめ8項
目、歳出面では人件費の抑制など5項
目に取り組み、財政目標のうち、財政
調整基金残高は、令和8年6月補正予
算後に20億円に達するなど一定の成果
を得ています。今後の見通しにつきま
しては、新ごみ処理施設の建設や上水
道・消防施設の更新等の組合負担金の
増加など、財政需要の更なる増大が見
込まれるため、引き続き経常収支比率
の改善に取り組んでいきます。

問 人口減少に伴い税収減が見込ま
れる中、持続可能な行政サービス
維持するための財政運営ビジョンに
ついて

答 人口減少が進む中、安定的な税
収確保は喫緊の課題であり、企業誘
致・人口減少対策を推進し、将来の
法人税や市民税の増収を図るため、
本年度は、産業用地検討調査や移住
支援事業補助金など、新たな事業に
取り組んでいます。

問 過去に策定された補助金やイベ
ント事業について費用対効果を検証
し反映されているか。

答 市単独の団体補助金の削減や助
成事業の縮減・廃止、イベントの隔
年実施化を図ってきたが、引き続き
事業の成果を可視化できるよう数値
化し、客観的指標により、費用対効
果が認められないと判断できるもの
や、サービスの受益者が一部に限ら
れている物については、事業の廃
止・休止を含めた見直しを図ってい
くことにしています。

他に国県支出金の獲得強化について、
財政調整基金の積み立てと将来の備え
について、歳入の具体的な取組みにつ
いてを質問させて頂きました。

個人質問

排水対策が最優先。排水対策なしに
大網駅前開発はありえない。

黒須 俊隆 議員



問 大網白里市は内水浸水想定区域
図をホームページで公開している。
1時間153ミリ、1日388ミリの
想定で、千年に1回の降雨と書い
てある。今回はこれをオーバーし
た。千年に一度の豪雨が3年、4年
おきに来る状況を市はどのように考
えているか。

答 予想というのはなかなか難し
く、そのときの状況で、最大雨量を
考えて計画しています。その都度、
適切な対応を取っていければと考え
ています。

問 現在の河川改修が終われば水害
を防ぐことができるのか。

答 小中川および金谷川の改修整備
については、ともに南白亀川水系の
河川整備計画に基づいて実施してい
ます。現整備計画で改修したとして
も、浸水被害の軽減はされますが、
道路冠水など影響が生じる可能性は
あると考えています。

問 どの程度の被害が軽減されるの
か。判断材料が市にあるのか。

答 総体的な計画として、見直しの
想定はしていますが、これらの想定
は、今回の降雨量に対するものとは
かけ離れているので、今後検討が必
要な課題だと認識しています。

問 大網駅ロータリーやガード下の
浸水被害は、排水ポンプの台数を増
やせば対応はできるのか。

答 東金線のガード下には、千葉県
管理の道路排水用の排水機場が設置
されており、排水ポンプを増や
して、排水できるのかというところ
には、検討が必要だと思います。

問 防災拠点の市役所の周りも浸水
冠水した。対策はあるのか。

答 道路側溝の土砂堆積やグレーチ
ング上のごみが道路冠水にも影響し

ますので、この管理につきまして、
市民の方々の協力を得ながら進めて
いきたいと考えています。

問 連日の災害報道で市のイメージ
が失墜した。イメージ回復には何が
必要なのか。

答 治水対策などの課題の検証を的
確に行い、適切な復興事業を着実に
実行して、災害に強いまちづくりを
進めていくことが、アピールになる
ものと考えております。

問 市長は浸水被害対策が最優先課
題だと言っているが、いくつかある
優先課題の一つか、それとも本場の
1番なのか、どちらなのか。

答 最優先課題というふうに認識を
しております。

問 市は大網駅南地区開発の事業化
検討のパートナー募集を一時中止に
したが、すぐにまた復活するのか、
それとも排水対策なくして駅前開発
はないのか、どちらなのか。

答 当然、排水対策なくしては、駅
前の開発もないということでありま
す。そういうことでございます。

問 季美の森で水没車両が多かつ
た。道路の水没や冠水をハザード
マップに反映すべきではないか。

答 道路等につきましても、過去の
冠水データを基に作成しています。
新たに発生した冠水箇所の追加等、
ハザードマップのデータ検証、更新
に努めてまいります。

問 そもそもハザードマップの信頼
性が怪しい。いつも被害にあう大竹
橋のラーメン屋さんの浸水深がゼロ
になっている理由は。

答 確認したところ、確かに浸水深は
白紙でした。今回の冠水を受けて、ハ
ザードマップのデータ検証、更新、対
応してまいりたいと思います。